

山田記 李徵の変身の原因を読み解く 第4段落

P27
L14～
P29
L15

李徵は自分の変身の原因を客観的な視点で分析している。それを読み取り、「」の単元の目標である「李徵の変身の意味を説明できる」ようになろう。

P28
脚注の問 「『臆病な自尊心』とはどのようなものか。」について
「臆病な」……（ ）「自尊心」……（ ）
「尊大な」……（ ）「羞恥心」……（ ）

一般的には「 」または「 」となるべきもの
→「臆病な自尊心」・「尊大な羞恥心」は（ ）」

○それぞれの表現を平易な言葉で説明しなさい。
「己の珠にあらざる」とを惧れるがゆえに、あえて刻苦して磨く「むせば」

P28
L9
「己の珠なるべきを半ば信ずるがゆえに、碌々として瓦に伍する」もむづきなかつた。

P28
L8
「才能の不足を暴露するかもしれないとの卑怯な危惧」

P29
L2
「刻苦をいとく恥惰」

P28
L12
「おれの場合、この尊大な羞恥心が猛獸だつた。虎だつたのだ。これがおれを損ない、妻子を苦しめ、友人を傷つけ、果ては、おれの外形をかくのう」とく、内心にふさわしいものに変えてしまつたのだ。」

○「虎」はもともと「」にあつたものだと語つてゐるか？→（ ）

○ P23L3 「」外でだれかが我が名を呼んでいる。声に応じて外へ出でみると、声は闇の中からしきりに自分を招く。覚えず、自分は声を追うて走り出した。」もあるが、「声」はどこからの声だと語れるか？→（ ）